

2009

新 個別指導宣言

『学力向上の6つのおきて』

1. 欠席をしない
2. 遅刻をしない
3. 宿題を提出する
4. 忘れ物をしない
5. 身の回りの整理整頓をする
6. 字を丁寧に書く

これが、学力向上と何の関係が??

学力を伸ばす子には共通点があるのです。

それは、ごく簡単なことです。
誰にでもできる方法です。問題は、それを
継続して実践できるかどうかなのです。

まずそのひとつめ、それは、欠席しないこと。

え? そんなの当たり前じゃない、という
声が聞こえてきそうですね…。

思わぬ事故や病気など、やむを得ない事情
の時はさておき、当日になって、急にその

日のスケジュールが合わなくなった! という理由で休むようなことがあってはいけま

せん。これは、自己管理ができていないという事です。

勉強ができるようになるには、日々弛まぬ努力が必要です。塾に、頭の良くなる薬は売っていません。勉強するという事は、ある意味自分との戦いです。好きなことを我慢して、頑張らなければならぬ時があるのです。

ふたつめ、それは、遅刻しないこと。

時々遅刻することがあるかもしれませんが、電話やメールで連絡もせず、平然と遅刻するというのは、いかがなものでしょうか?

遅刻しても平気?

でも、よく考えてみて下さい。あなたを待っている先生がいるのです。

成績を伸ばす子、学力を向上させる子は、まず遅刻はしません。たとえ遅刻することがあったとしても、前もって連絡がありますし、遅刻した理由もきちんとしています。

若いうちなら許してもらえる事でも、社会に出ると、そんな訳にはいきません。いったん失った信用を取り戻すのは、並大抵の事ではないのです。

成績を伸ばすための方法を、われわれ塾人は知っています。その方法をお伝えするのが我々の役目なのですが、それを学ぶ人の心根がしっかりしていないと、時間がかかります。

みつつめ、それは宿題を提出すること。

はい、これも当たり前のことですね。

宿題は、提出期限が決まっています。それをきちんと守れるかどうかです。時には大量の宿題が出され、とてもじゃないけど期限までには・・・という場合もあります。その時は、計画を立ててこなしていくしかありません。そうすることで、自然と計画学習の習慣が身につくのです。

よつつめ、それは、忘れ物をしない。

忘れ物をするというのは、目的意識の欠如です。何ごとも目的意識がなければ、達成されるまでに時間がかかります。

では、最後に、
「整理整頓」と「丁寧な字を書く」
という事についてです。

身のまわりをきれいにするといいでしょう。あなたの勉強環境を整えることです。丁寧な字を書くことも大切。

きれいな字ではなく、「丁寧な」がポイントです。字は心です。乱れた字(心)では、学力向上は難しいのです。

さて、これは余談かもしれませんが、聞いて下さい。

みなさん、北野たけしさんはご存知ですよね？ 昔、テレビでこんなことを言っていました。

「大して面白くもないことなのに、みんな笑ってくれる。映画を作ればヒットするし、

自分はどんどん成功していく。おかしいな

あ、どうしてかなあと考えてみると、ひとつだけ思い当たる節がある。
それはアレを欠かさずやっていたからだ」

「アレって何だと思いませんか？」

それは・・・トイレ掃除だそうです。

北野さんは、ロケに行って公園のトイレに入った時、汚かったら掃除するそうです。トイレットペーパーなどがあればいいのですが、ないときは素手で。



師匠に言われた
そうです。

「トイレだけは
きれいにしておけ！」と。

さて、整理整頓の話に戻ります。

以前、こんな生徒がいました。
彼は、とにかく忘れ物が多かった。テキストは忘れる、宿題は忘れる、プリントはなくす、筆記用具は忘れる、拳銃のはてには、自分の塾日すら忘れる。ありえないぐらいの忘れ物をしたのです。どうしてこんなに忘れ物が多いんだろう？
そこで、彼に尋ねてみました。

「君、部屋の掃除してる？」

「・・・・・・・・」

ここで、「じゃあ、今から自分の部屋を掃除しなさい!」と言っても、この言葉を忘れるといけないので、私は、彼の部屋まで行きました。日曜日の午後。

すると高3なのに、なぜか小3の時のファイルが出てきたり、本棚には、中学の時の参考書が置いてあったり…。

それから

3時間ほどかけて、

徹底的に

掃除をしました。



この日を境に、彼の忘れ物は減り、成績も上昇し始めたのです。

「勉強のやり方が ・」、「勉強時間が ・」

と言う前に、まず、部屋の掃除をしましょう!身のまわりをきちんと整理整頓しましょう!

きっと何かが変わるはずですよ。

あっ、それと、塾での勉強が終わったあと、机の上の消しカスを捨てることも忘れないでください。あなたが塾に来て、勉強する机がきれいなのは、前の時間にその机を使っていた人が、きちんと掃除してくれたからです。そのやさしい心、気遣いを踏みにじってはいけません。人として。

多くの生徒たちに接してきてわかったのですが、勉強ができる人には、やはり共通点があるのです。

私は、あなたが、本当に勉強のできる人になってほしいと願っています。体力は年とともに衰えても、知力が衰えることはありません。

大人は、よく言います。

「学生時代、もっと勉強しておけばよかった・・・」と。

もちろん、大人になってからでも勉強はできます。しかし、相当な努力が必要なのです。体力、気力も衰え、記憶力も若い頃に比べて、確実に落ちていきます。

教育に損得勘定を持ち込むのは良くないことなのですが、勉強して損をすることは何一つありません。

それなら、若いうちに勉強した方が得に決まっています。

断言します。勉強して損する事は、一つもありません。

小学生

はい、
では、復習です。

「学力向上6カ条！」



1. 無断欠席をしない
2. 時間を守り連絡を忘れない
3. 宿題を期日までに連出する
4. 忘れ物をしない
5. 身の回りの整理整頓をする
6. できるだけ丁寧な字を書く

まわりにいる、成績のいい子を見て下さい。

きっと、
この「当たり前のこと」が
実践できているはずです。

中学で勉強ができる人に

なるカギは、

小学生のうちに

「自学力」を

身に付けて

おく事です。



論理力養成講座と漢字検定(国語)全ての教科のベースとなる「論理力の育成」はもちろん、今年からは、漢字検定の受検を積極的に取り入れていきたいと思っています。漢字は全ての教科の基礎です。読解力のベースは単語力です。日常的に日本語を使っているのでピンとこないかもしれませんが、英語に置き換えてみて下さい。

中1の英語の勉強といえば、文法がどうのこうのというより、とにかく、単語が読める、書ける、意味がわかる、です。秋の漢字検定試験に向けて、指導をしていきます。

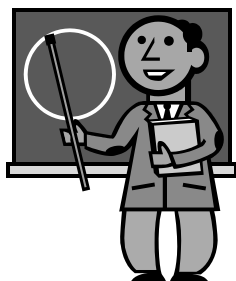
先取り講座(算数)

学年が上がるにつれて、成績の差が出てくるのが算数です。ところが小学校のテストや通知簿を見ても、「本当に出来ているかどうか」はわかりません。差がつかないように配慮されているからです。

例の「ゆとり教育」「競争の排除」ですね。

ですから、多くの子供たちや保護者の方は、危機感のないまま、見過ごしてしまうのです。これでは、中学生になってつまずくのは明らかです。

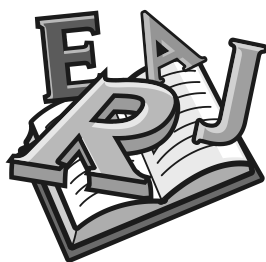
そこで、塾では、基礎基本はもちろん、学校では扱わない応用問題の解き方や考え方を指導していきます。



オプション講座

中学受験を目指す子供たちのために、理科、社会の講座も設置しました。受験だけではなく、興味のある方も大歓迎です。

英検合格プロジェクト(英語)



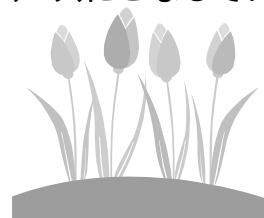
お遊びの英語ではなく、将来も使える英語の習得を目標に指導しています。

中学生

長い一年の間には、その時期に応じた内容や注意点がありませんので、ここでもう一度確認してみます。

春期講習

全学年の復習はもちろん、1学期の先取り学習をします。スタートダッシュで新学年の内容をスムーズにこなしていきます。



1学期

中学の学習は、2割が理論、理屈です。残りの8割は、問題演習なのです。

分かった！理解した！だけでは力はずきません。誤解を恐れずに言うなら、質より量なのです。ですから中間テストや期末テストの前には、土曜、日曜に補習を実施し、学習量の確保に努めます。勉強と部活動の両立が、だんだんと難しくなる時期です。あと一息で夏休み前の期末テストで、春からの努力の結果がここで出るので。

夏期講習

これまで学習してきた内容の

総復習に加えて、

テーマ別演習を

行います。



各教科の習得すべき項目をこなす中で、各生徒さんの個別課題、いわゆる弱点を理解、消化してもらいます。まさに、「しらみつぶしに」です。ただ漠然と予定を消化するのではなく、各生徒さんの『この科目のどの単元をどうこなす』という、はっきりとした目標が見えてきます。

8月は通常指導もございますので、
今まで習っていない科目もお考えいた
だきたいと思います。

2学期

理科や社会は、ちょっとしたコツが分
かると、おもしろいほど点数が上がる科
目です。別の先生に代わった途端に成績
が急上昇することも、よくある科目なの
です。

社会であれば、歴史の
つながりに目を向ける。
この出来事があったから、



次のこの事件が起きた！というふうに、
1つの事柄を覚えるのではなく、歴史の
つながりで整理することで知識を確実
にして、事件の起こった順番もわかって
きます。



内申書の成績を上げるためにも中間
テスト、期末テストの5教科の合計の点
数を考えていくのが、二学期になります。

あと何点上げたいのか?!そのために
は、どの科目を集中的に、どう勉強して
いけばいいのか?!

学期の変わり目にも、保護者会をさせ
ていただいておりますが、ご相談があたり
の時はいつでもご連絡ください。

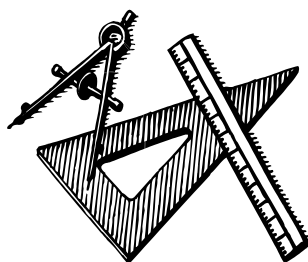
冬期講習

春と同じように短い期間ですが、とて
も重要です。三年生は、受験のまとめの
期間となりますし、他の学年でも長い二
学期の確認、弱点補強のよい機会となり
ます。

毎年、インフルエンザが流行したり、
体調をこわしがちな時期ですので、体調
管理もしっかりとおこないましょう。

3学期

いよいよ学年まとめになります。
各科目とも、重要項目が、目白押しと
並んでいます。



特に数学では、
図形の事柄が多い
ので図形が苦手な

ならないように、
問題演習を、繰り返し練習しましょう。

また、英語では、長文演習で、文章の
大意を（何をこの文章は言いたいのか）
つかむ練習が必要です。次の学年に向け
て、各科目とも、弱点を作らないことが
大事です。

高校受験生へ

来年、

「あ～、もっと勉強しておけばよかった…」

と、言わないために！

今まで、この言葉を何度聞いたことでしょうか。こんな言葉を聞くために塾をしているのではありません。みんなに、第1志望校に合格してもらうために、塾という仕事をしているのです。来年、あなたが見事合格切符を手にするために、私の塾で出来る事は全てします！全てです！ただし、次の事を必ず守って下さい。『学力向上6つのおきて』に加えて、以下の4つを肝に銘じて下さい。名付けて、

『受験の神様を味方につける4カ条』です。

1. 素直であること

人の話を素直に聞けることは、もちろんですが、自分に素直である事も大事です。第1志望校の合格に向けて、まっすぐに頑張っていける人になって下さい。

2. すぐ行動できる人になること

どんなにいい話でも、それを行動に移せる人は2割だそうです。残りの8割は、いい話だったね...で、終わってしまうのです。あなたは、どちらですか？

3. 勉強の仕方を研究すること

成功する秘訣は、成功した人に近づく事。勉強も同じです。成績の良い人がどんな勉強をしているのかを、よく見て研究して下さい。成功のヒントは、身近な所にあるのです。

4. 失敗をおそれないこと

失敗の数は、行動に移した数です。頭でどれだけ考えていても、成功にはつながりません。自分に合った勉強法を見つけるために、どんどん失敗して下さい。10回挑戦して、9回失敗しても良いのです。1回の成功が、あなたを合格に導くのですから。

学力向上のヒントがいっぱい！！

ファースト・アカデミー 塾講師の徒然日記
<http://first-academy.at.webry.info/>

ファースト・アカデミーの公式ホームページ
<http://www.first-academy.jp/>

加藤先生ブログ：教室長の冒険譚
<http://caerleon.blog.drecom.jp/>

↓補習などの連絡はこちらから↓

ファースト・アカデミー 情報BOX
<http://first-send.jugem.jp/>

